

平成 29 年第 2 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
6月13日(火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	瀧 瀬 栄 子 議員	1
	3	3	田 川 正 毅 議員	3
	4	4	内 野 繁 樹 議員	5
6月14日(水)	5	1	小 嶋 俊 樹 議員	6
	6	2	朝 長 隆 洋 議員	7
	7	3	戸 浦 善 彦 議員	7
	8	4	中 尾 清 敏 議員	8
6月15日(木)	9	1	平 井 満 洋 議員	9
	10	2	宮 本 一 昭 議員	10
	11	3	杉 山 誠 治 議員	11
	12	4	清 水 正 明 議員	12

1. 岩 本 利 雄 議員

質問事項 1

選挙公約について

質問の要旨

平成 29 年 4 月 23 日執行の西海市長選挙において後援会が発行した討議資料によれば、市長は「すぎざわの希（ねが）い」として 4 項目の施策をあげている。

そのなかの一つに、「暮らしの安全・安心そして安定のまちづくり」とあるが、具体的な施策内容について伺う。

質問事項 2

松島架橋について

質問の要旨

松島架橋は、松島島民の切実な願いである。松島架橋の早期実現に向けた、今後の取組みについて伺う。

質問事項 3

イノシシ対策について

質問の要旨

- (1) 西海市周辺に生息しているイノシシの個体数を把握することは困難とされているが、市長はイノシシの個体数は、増加傾向にあると判断されているのか、それとも減少傾向にあると判断されているのかを伺う。
- (2) 市内において平成 28 年度に捕獲されたイノシシは何頭か。また、平成 29 年度の捕獲目標は何頭かを伺う。
- (3) イノシシが民家の庭先に出没し、住民に不安を与えているため、このような地域への対策を強化すべきだと考えるが、市民の不安を解消するための新市長の意気込みと具体的な対応策を伺う。

2. 湊 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

コミュニティバスや乗り合いタクシーの運行について

質問の要旨

(1) 第2次西海市総合計画において、コミュニティバスや乗り合いタクシーなどの新たな公共交通システムの導入検討が示されている。

これまでも検討はされるものの事業の具体化に至らなかった要因と、それを解決する取り組みについて伺う。

(2) 大瀬戸町松島地区のコミュニティバスの西泊ルートにおける集落内への乗り入れに伴う変更については、平成29年3月定例議会において、バス事業者が本年6月に申請し、同年10月にダイヤ改正を実施する予定と答弁があっていたが、予定どおりに進む見通しか伺う。

(3) 長崎市が本市にあるバス事業者に委託して実施している長崎市コミュニティバス外海線の運行の方法を本市に適用できないか伺う。

質問事項2

国民健康保険の運営について

質問の要旨

平成30年度から長崎県が財政運営の責任主体となる国民健康保険については、運営方針が示され、西海市の税率に大きく影響する事業費納付金及び税率の試算が示される重要な段階にあると思うが、連携会議や作業部会などの協議の場において、西海市として述べた意見を伺う。

質問事項3

自衛隊や米軍の訓練について

質問の要旨

(1) 陸上自衛隊西部方面普通科連隊の本市崎戸町での訓練は、どのような経緯で行われたのか。また、今後も訓練を認めるのか。

(2) 海上自衛隊のL C A Cが夜間航行した問題や西海市の抗議で中止になったものの米海軍が横瀬L C A C駐機場内での射撃訓練の実施を伝えてくるなど、横瀬L C A C駐機場の施設運用に不安があるが、本市の基地政策における基本姿勢と今後の対応について伺う。

質問事項 4

就学援助制度について

質問の要旨

- (1) 平成 28 年 9 月定例議会において、就学援助の支給時期について、事務処理の見直しなどを行い、より迅速な手続き及び支給に努力するとの答弁であったが、改善されているか。
- (2) 入学準備金については、中学生を対象に入学前の支給を検討するとの答弁であったが、文部科学省が平成29年 3 月31日に「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱」の一部改正を行い、国庫補助の対象に「就学予定者の保護者」が追加されたことから、小学校入学前の支給も補助対象となった。本市においては、これに沿った対応が速やかにとられているか伺う。
また、入学準備金の単価は、小学生 20,470 円から 40,600 円、中学生 23,550 円から 47,400 円に増額されている。これに沿って本市も増額されているか。

3. 田 川 正 毅 議員

質問事項 1

市民の健康増進のための実践的な取り組みについて

質問の要旨

- (1) 第 1 次西海市総合計画においては、「健康の里さいかい」を市の将来像に掲げ、健康づくりはまちづくりの大きな柱として位置づけられてきたと思うが、新たな総合計画の中で今後どのように取り組むのか。新市長としての具体的な施策を伺う。
- (2) 健康管理の方法としてプール施設の利用に関心が高まっていると聞くが、以下について伺う。
 - ①市外のプール施設に通う市民の利用状況を把握しているか。
 - ②大瀬戸町の「ふれあいプール」を温水化し、年間を通して利用できるようにすることで、市民の健康管理に役立つと考えるが如何か。

質問事項 2

離島地域における夜間医療体制について

質問の要旨

- (1) 松島・平島・江島の夜間における医療体制の現状と課題をどのように捉えているか。
- (2) 夜間の救急搬送における海上タクシー、漁業者との提携、自衛隊の協力などの可能性について伺う。

質問事項 3

西海市における火災、風水害への対応について

質問の要旨

- (1) 過去 4 年間の住宅災害の状況について
- (2) 罹災された方々への対応の現状について
- (3) 罹災者に向けたマニュアル作成と周知方法について

質問事項 4

西海市のゴミ分別の実態について

質問の要旨

- (1) 可燃ゴミ、資源ゴミ等の処理の現状について
- (2) 資源ゴミを「炭化センター」において、助燃油として利用している実態があるか
- (3) 市内各町でのゴミ分別の状況は、期待どおりであるか。

質問事項 5

コミュニティバスの運行について

質問の要旨

杉澤市政は、「市民ファースト」を政策の柱としているが、高齢化が進む西海市においては「買い物難民」「医療難民」が急増している。買い物や病院に行きたく

でも行けない方々のために、コミュニティバスの運行を市内全域で実施出来ないか。

4. 内野繁樹議員

質問事項1

緊急を要する救命処置について

質問の要旨

- (1) 現在、本市の医療機関においてこれに対応出来る所はあるのか伺う。
- (2) ないとしたら、市長は今後の対処をどのように考えるのか伺う。
- (3) 江島地区及び平島地区の医療体制はどのようになっているのか伺う。

質問事項2

常時の医療体制について

質問の要旨

市内医療機関においては、休診日、休診時間がほぼ同一のようだが、このような状況下で、市民が安心して暮らせるまちと言えるのか。ちなみに広報誌の中に日・祝日における救急医療在宅当番医が記載されているが、但し書きに「専門外に対しては診療が出来ない場合がある」と書かれている。これでは満足できる治療が出来ているとは考えにくいですが、市長の考えを伺う。

質問事項3

市立の医療機関の設置について

質問の要旨

- (1) 平成28年第4回定例会の一般質問において「市立の医療機関の設置を必要と考えるかどうか」という質問に対し、市長は「多額の経費を要する病院経営は財政的に厳しく極めて困難」と結論付けた。一方では、第3回市民と議会のつどいの中で市民の方から「赤字が出るとしても市民病院を造るべき」との意見が出ている。

そこで市長は、どの程度厳しく、どの程度極めて困難なのか市民の方々が納得する数字を示すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

(2) 「地方議会人 2012 5月号」の冊誌の中で「わが病院の経営改善への取り組みと展望」という記事がある。

それを読むと市立の医療機関の設置が可能なのかもしれないと思ってしまう。今までよりもっと多角的に調査・検討をし、市民が望むより良い答えを導き出す必要があると考えるが市長の考えを伺う。

質問事項 4

介護の現状について

質問の要旨

本市における介護現場の現状と課題について、次の点を伺う。

- (1) 需要と供給のバランスはとれているのか伺う。
- (2) 介護の現場において、働き手の抱えている問題点と現状を把握しているのか伺う。

5. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

固定資産（固定資産税）について

質問の要旨

地方自治体が賦課する基本となる土地家屋の現況は、人口減少や都市部への人口流出などで、さまざまな課題が提起されつつある。それをふまえ次の事について伺う。

- (1) 遊休農地と荒廃農地の状況はどの程度把握しているか。
- (2) 過去5年間の中で空き家の数や所有者不在になった土地や建物の数量はどれくらいか。
- (3) 近年、相続放棄や固定資産税徴収不能になった件数が存在するか。
- (4) 固定資産を自治体、公共的団体への寄付行為又は個人、法人への無償譲渡をした者が存在するか。

6. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

本年度の政策方針及び教育方針における具体的な重点政策について

質問の要旨

1. 市長の政策方針と本年度の予算措置における基本的考え方と取組みについて以下の点を伺う。
 - (1) 子ども達や若い世代が本市に住み続けることが出来る思い切った政策が必要と考えるが、人口減少対策、少子高齢化問題に対応するための取組みをどのように進めていくのか市長の考えを伺う。
 - (2) 行政機構及び組織のあり方を今後どのように考え、さらには総合支所のあり方を踏まえた政策の進め方について市長の考えを伺う。
2. 新教育長として思い描く西海市の教育方針と今後、特に力点を置いて予算化したい教育施策を伺う。

7. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

「すぎざわ泰彦のまちづくり」と掲げた 10 項目の取組むべき政策課題について
新市長に問う

質問の要旨

- (1) 旧長崎オランダ村の見直しについて
今後、手付かずのCゾーンの部分を含めて、どう見直していくのか方針を伺う。
- (2) 観光政策について
市長が代わり、また新副市長においては、観光に関係した要職を歴任され、本市における観光政策は、変革の年となると推察される。そこで、本市の今後の観光政策について具体的な政策や新規事業があるのか伺う。

質問事項 2

「変革・・新たな西海市の始動」と掲げた 7 つの政策課題について新市長と新教育長に問う。

質問の要旨

(1) 教育政策の重点化について

何が変革し、新たな教育政策に向け始動されるのか。具体策を伺う。

(2) 新教育長の小学校社会体育と中学校の部活動のあり方に対する考えを伺う。

質問事項 3

「すぎざわのお約束」と掲げた4つのお約束について新市長に問う。

質問の要旨

(1) 暮らしの安全・安心のまちづくりについて

①梅雨の時期に入り、市民の生命を守る、大雨防災対策（ハード含む）など市の取組みを伺う。

②インターネット高速通信網整備とコミュニティバス運行に向けて、それぞれどのようなスケジュールで取り組んでいかれるのか、方向性（方針）を伺う。

(2) 市民が主役の地域づくりについて

市民の考えや提案を取り入れた地域づくりをどういう手段で進めていかれるのか伺う。

8. 中尾清敏議員

質問事項 1

農業政策について

質問の要旨

(1) 西海市は中山間地域を多く抱え、高齢化や労働条件の厳しさから後継者不足、担い手不足が問題となっている。

更に耕作放棄地の増加も懸念されているが、持続可能な農業を見据え課題解決に向けた対策を伺う。

(2) 農業委員会法の改正により、農地利用最適化推進員も加わり新たな農業委員会体制が始まる。それぞれの公募状況について伺う。

(3) 農地対策推進においては、農地中間管理機構と農業委員、農地利用最適化推進委員との連携は最重要であると思うが、今後どう取り組むのか市長の見解を伺う。

質問事項 2

まちの活性化について

質問の要旨

- (1) 本市の地域おこし協力隊の現況を伺う。
- (2) 本市は集落の高齢化など多くの課題を抱えている。
そこで、地域に密着して住民の健康増進活動やまちづくりを支援する「コミュニティナース」として看護師資格をもつ方を地域おこし協力隊として受け入れ、活動を支援していく考えはないか、市長の考えを伺う。

質問事項 3

七釜鍾乳洞界隈の利活用計画について

質問の要旨

- (1) 西海楽園一帯の整備状況を伺う。
- (2) 七釜鍾乳洞界隈の利活用計画に伴うランドデザインはどうなっているのか伺う。

9. 平井満洋議員

質問事項 1

ポートホールン長崎について

質問の要旨

ホーランドビレッジ(株)が管理運営をしているポートホールン長崎が、厳しい経営状況下の中で継続運営の努力をしていると耳にする。

そこで次の点について伺う。

- (1) 平成28年4月16日の開業に至るまでに西海市が旧長崎オランダ村に投じた整備費用と工事内容の詳細について伺いたい。
- (2) また、管理運営会社をホーランドビレッジ(株)に決定した経緯と内容をあわせて伺いたい。

質問事項 2

西海市炭化センターについて

質問の要旨

平成 27 年 7 月より業務が開始された西海市炭化センターは、施設の設計、建設、運営を一括して民間事業者へ委託する DBO 方式が採用され、通常 3 回の入札が、時の市長が特別に認め 4 回目の入札で異例の 99.7% という率で落札されたものである。

- (1) そこで約 70 億円かかった設計、建設、運営の詳細な内訳を伺いたい。
- (2) 次に、この施設を立ち上げる中では、事業者選定委員会を設置し、その委員会の議事要旨が作成されているものと承知している。
すべての議事要旨について、黒塗り無しで提示することはできないか。
- (3) また、現状稼働している施設で製造された炭化燃料は、計画通りに有効利用がなされているのか伺う。

質問事項 3

要望書の取り扱いについて

質問の要旨

合併して 12 年の時を刻みました今日、各地区からの要望は絶えることのない現状だと見受けられる。

そこで、25 年度～28 年度に提出された要望書の年度別の件数と、それに対する対応、処理、結果について伺う。

10. 宮 本 一 昭 議員

質問事項 1

農業政策について

質問の要旨

1. 市内各地域で農地基盤整備事業が計画、実施されているが、現在の進捗状況を伺う。
2. 農業従事者の規模拡大や新規就農者に対する国又は県の補助金について、ポイント制度のようなものが設定されていると聞いているが、くわしく伺う。

質問事項 2

高速通信網の整備について

質問の要旨

1. 定住促進、企業誘致、起業の促進等、多くの課題解決のためには高速インターネット(光ケーブル通信網)の整備が必要であると考えているが、市長の考えを伺う。
2. 長崎市から本市西彼町大串を經由し、市役所へのケーブルが布設されているが、これを利用した市民の情報通信網の拡充はできないのか伺う。

11. 杉山誠治議員

質問事項 1

地域審議会について

質問の要旨

西海市の発足から10年間開催されていた地域審議会は、現在では役割を終えたとして廃止されている。

このような審議会は、各地域が平均的に発展していく為の重要な組織と考えるが、今後、復活又はそれに代わる発展させた組織を設立する考えはないか伺う。

質問事項 2

総合支所機能の充実について

質問の要旨

西海市合併に際しては、総合支所方式でやっていくこととされていたと思うが、最も地域に密着している総合支所の人員配置、決裁できる予算や権限など、その機能を充実させることができないか伺う。

質問事項 3

「胃がんリスク検診」の普及について

質問の要旨

ピロリ菌の検査を胃がんの予防対策として、本市が実施する検診項目に取り入れる事は出来ないのか、市長の考えを伺う。

12. 清 水 正 明 議員

質問事項 1

市長の施政方針について

質問の要旨

1. 西海市をはじめ、多くの自治体の課題は、人口減少と考えられる。市長は、当選時に「ここ 1、2 年で人口減少を食い止める施策が何もなかった」と発言されている。また、選挙公約の 1 つに「若者が住みやすいまちづくり」を掲げていたが、今後、「若者を西海市に定着させ、人口減少を食い止める」ための市長の方針を伺いたい。
2. 「ポートホール長崎」については、過去に議会で何度も取り上げられ、今回の市長選でも、これまでの市の施設整備等への整備費の負担などが争点の一つになっていた。当選後の会見で「今のまま運営するのは無理があるのではないか。議会、市民と再度協議し直し、あるべき姿をつくりたい」と発言されている。この「あるべき姿」とは、具体的にどういう事なのか伺いたい。

質問事項 2

教育行政について

質問の要旨

近年、教職員の長時間労働問題視されている。5 月 25 日に県の教育委員会主催で開催された小中学校教職員を対象とした「超勤改善等対策会議」が初めて開催されている。その報道によると、2013 年度実施の県教育委員会の調査によると、1 カ月当たりの平均残業時間は、小学校で約 40 時間、中学校で約 70 時間とされている。

そこで、次の事に関して伺いたい。

- (1) 本市における小中学校の教職員の超過勤務状況の状況は、どうか。
- (2) 勤務時間は、どのような方法で把握しているか。
- (3) 学級の人数が多ければ、教職員の負担が増すと考えられるが、一学級 30 人を超える学級の割合を伺いたい。(小中学校別に)

- (4) 会議の報道によると、県教育委員会が具体的な取り組みを提案とあるが、その内容と、それに対する教育長の見解を伺いたい。

質問事項 3

環境行政について

質問の要旨

1. 西海市再生可能エネルギー活用計画について

本市においては、平成 23 年 8 月環境実践モデル都市に選定され、「西海市再生可能エネルギー活用計画」が策定されている。

そこで、この活用計画に関し、次の事について伺いたい。

- (1) 太陽光発電利用可能量にある公共施設屋根 1,132MW/h のうち、どれくらい施工しているか。あるとすれば、その年間売電量を伺いたい。

- (2) 遊湯館の木質チップボイラーの導入条件の達成状況を伺いたい。

- (3) ハウス栽培への木質チップ加温機導入モデルが示されているが、導入実績を伺いたい。

2. 風力発電ゾーニング計画について

- (1) 4月28日にパブリックコメントが締め切られているが、意見の集約状況をお尋ねしたい。

- (2) 本年度の工程表を見ると成果報告が来年の1月から3月となっているが、ゾーン決定がその時期と考えていいのか。

- (3) 本来、事業者が採算性を検討したうえで、ゾーン決定を行い、環境影響評価の法調査をすべきと考えるが、この計画で調査の意図するものは何か。

- (4) 先に述べた西海市再生可能エネルギー活用計画に何ら上がっていない「風力発電事業」を推進するのは何故か。

3. 海洋エネルギー実証フィールド

長崎海洋産業クラスター形成推進会議が設立されてから、3年以上が経過したが、江島・平島沖の実証フィールドに向けた取り組みについて伺いたい。

4. 下水道事業について

- (1) 本市の汚水処理施設の普及率は、平成27年度末で75.6%である。全国の89.9%、長崎県78.8%を下回っている状況にある。約4分の1の人たちは、まだ下水道が未普及の状況にある。この方々へ、今後、普及拡大をどう取り組んで行くのか伺いたい。
- (2) 公共下水道が大串と大瀬戸で実施されているが、おのおの処理区の普及率と接続率（水洗化率）を伺いたい。
- (3) 両処理区で未接続の方がいるとすれば、その方々への接続に対する取組みの状況を伺いたい。
- (4) 農業集落排水事業での接続率（水洗化率）を伺いたい。
- (5) 大村湾に流入する流域の汚水処理普及率を伺いたい。
- (6) 公共下水道、大串処理区の処理施設から排水される水質についてお伺いしたい。
- (7) 大串処理区に高度処理施設の導入を検討する必要があるのではないか。